

## 活動報告

2011年

- 1月 ・一時託児室決定
- ・ロールモデル集No.2発行
- ・第4回在宅勤務検証の実施
- ・合同PT会議開催

**PICK UP!**

### プラスα保育 一時託児室 決定!



プラスα保育の一時保育室が、大学宿舎の一室に決まりました。子どもたちに危険のないよう部屋の改修が終わり次第、一時託児室として運用を開始します。運用開始後は、プラスα保育の一時託児室としてだけでなく、オープンキャンパスやその他イベント時の一時託児室としても使用します。イベント時の一時託児については、ニュースレター第2号をご覧ください。男女共同参画室までお問い合わせください。



## 一時託児室の愛称を募集します!

**プラスα保育の一時託児室が、  
大学宿舎の一室に決まりました!**

※女性研究者支援モデル育成事業期間(~H24.3)中のプラスα保育利用者は、女性教員・研究者と検証に協力依頼した男性教員若干名です。H24年度以降は利用者を広げることを検討中です。

♪一時託児室にふさわしい愛称募集♪

下記の男女共同参画室まで、どしどしお寄せください。**粗品を用意してお待ちしています!**  
締切は**2月20日**です。

### ◀男女共同参画室▶

- 場所: 学際融合領域研究棟2号館3階
- TEL: 0743-72-5137/5138
- Email: sankaku-jimu@ad.naist.jp



## 参画室の役割と活動

### 各種出版物発行とホームページ更新

#### ●出版物発行

##### ☆男女共同参画室パンフレット

奈良先端大 男女共同参画室を案内するパンフレットを発行しています。この中で先端科学技術型ワークライフバランスの実現について説明し、プログラム内容を案内しています。

##### ☆ニュースレター

本紙になります。男女共同参画室の活動について、学内外のみなさまに広く知っていただくために、発行していきます。

##### ☆「理系研究者ロールモデル集」

進路決定のきっかけ、ワークライフバランス実現のために心がけていること、研究生生活のやりがいなど、男女研究者の経験を、研究者を目指す学生や若手研究者の方々の参考になるようにまとめています。

### 理系研究者ロールモデル集Ⅱを発行しました

ロールモデル集Ⅱを平成23年1月20日に発行しました。ロールモデル集と併せて、研究者を目指す学生や若手研究者の方のお役に立てば幸いです。ご希望の方は、男女共同参画室までご連絡下さい。  
場所: 学際融合領域研究棟2号館3階  
TEL: 0743-72-5137/5138  
Email: sankaku-jimu@ad.naist.jp

#### ●ホームページ更新

##### ☆男女共同参画室HP

広く情報を伝えるためにHPを作成し、順次更新しています。

奈良先端大での男女共同参画の考えや歩みから、具体的な研究助成・就職情報、育児と研究の両立のための支援情報などを載せています。

URL <http://www.naist.jp/gender/>

##### ☆事業紹介動画

男女共同参画室の主な活動を映像化し、紹介しています。実際に支援を受けた研究者の感想等も聞いて頂くことができます。

URL <http://www.naist.jp/gender/contents/other/movie.html>



## 第2回 テーマ「仕事の効率化」①

情報科学研究科 コンピューティング・アーキテクチャ・中島康彦教授

### 「仕事の効率化」

－制度設計なくして効率化なし－

本コラムを読んでいる方の背中越しに、上司が遊んでないで仕事しろという目で見ているかもしれない。使える人件費が決まっている上司にとって「効率化＝同一コストで部下が沢山の仕事をこなす」である。一方、時間雇用の部下にとって「効率化＝単価の高い職場で働く」である。月給一定で「効率化＝なるべく働かない」は論外とする。

さて、仕事の効率化を男女共同参画というコンテクストにおいて考えた場合、収入を減らさずに個人/家庭の時間をどのように捻り出すかが最終目的であり、達成のために仕事の評価尺度を変えることが効率化であると推測する。ここまで正しければ、上司と部下のベクトルが揃う解は、誰もが一度は考え付く「月給も時給もやめて出来高払いにする」ことであろう。上司は予定された仕事量分の給料を払うだけで損はなく、部下は同じ給料なら早く片付けるほうが単価が上がり余剰時間も増える。

同じ話は研究にもあてはまる。研究費も出来高払い（研究者になって最初の研究費だけは貸与）にすれば、税金の無駄と言われないし、出来高払いの一部を次の研究費に充てたり、失敗して投資が回収できない時の保険に積み立てたりできる。企業と同じく、リスクの高い研究は稼ぎ頭の

研究とセットにする必要も出てくるので、ポートフォリオ設計も重要になる。近い将来、研究費運用コンサルタント会社ができるかもしれない。

さて、賢明な読者は、以上の効率化には本質的困難があることにお気付きのはずである。従業員にせよ研究者にせよ、その成果がいくらに換算されるかを公平に鑑定できる人材はいない。楽々こなしているように見える仕事が、実は相当の対価をもって酬われるべきと判定することは容易ではない（某国のように評価のノウハウを蓄積すれば可能であるが現状は無理）し、工夫して効率化すると楽な仕事に見られてしまう。また、体力が十分になれば達成困難な目標を立てにくいという力学も働く。企業が競って採用した成果主義が行き詰まった理由は、この2点にあったことは言うまでもない。

結論めいたことは何もないが、以上の裏返しとして「教育も研究も効率化を目指すすとダメになる」ことは概ね正しい。最後に強調しておきたい点である。なお、以上の拙文は所要時間100分である。出来高払いにならないことを祈る。

## 今後の活動予定

- 3月
  - ・サイエンスフェスティバル時に広報ブースと一時託児の実施
  - ・合同PT会議
  - ・第5回在宅勤務検証の実施
- 4月
  - ・合同PT会議



## お知らせ

### けいはんな女性研究者ネットワーク

けいはんな女性研究者ネットワークは、けいはんな学研都市の女性研究者（技術者を含む）同士の交流の機会を提供し、WLBの為に役立つネットワークを目指します。けいはんなで働いている、住んでいる女性研究者の方、以前、けいはんなで働いていた、勉強していた女性研究者の方も参加いただけます。

登録方法：  
 ご氏名・所属・メーリングリスト用メールアドレスをご記入の上、メールにてお申し込み下さい。  
 E-mail: [sankaku-jimu@ad.naist.jp](mailto:sankaku-jimu@ad.naist.jp)  
 ※詳しくは参画室HPをご覧ください。(URL: [http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna\\_network.html](http://www.naist.jp/gender/contents/support/keihanna_network.html))

### WLB相談窓口

WLBに関わる情報を提供しておりますので、お気軽にお越しください。  
 場所: 学際融合領域研究棟 2号館 3階 男女共同参画室内  
 受付窓口: 男女共同参画室内受付または専用メールアドレス  
 受付時間: 月曜日～金曜日 10:30～12:00/ 13:00～17:00  
 TEL: 0743-72-5138  
 E-mail: [wlb-soudan@ad.naist.jp](mailto:wlb-soudan@ad.naist.jp)